

株式会社ミュージックバード

第84回番組審議会 議事録

1. 開催日時 2021年10月13日(水) 14時00分~15時30分
2. 開催場所 ※ZOOMによるリモート開催
3. 出席者
 - <番組審議会委員>
 - 福本 ゆみ 委員
 - 中西 健夫 委員
 - 近藤 良 委員
 - 堀 主知ロバート 委員
 - 麻倉 怜士 委員
 - <ミュージックバード>
 - 代表取締役社長 雄谷 英一
 - 常務取締役 仁平 成彦
 - 取締役技師長 土屋 充央
 - コンテンツ事業部 岩崎 育郎
 - コンテンツ事業部 関根 直子
4. 議事内容
 - (1)主な放送の活動
 - (2)番組試聴
 - (3)今後の施策について
5. 配布資料
 - (1)第84回番組審議会資料
 - (2)第83回番組審議会議事録
 - (3)2021年10月改編タイムテーブル
 - (4)MQA デブラー放送のご案内

(1) 主な放送活動

・MQA デブラー放送について

6月1日より124ch「THE AUDIO」に英国MQA社開発のDeblur Filtering 技術を導入、世界初の「MQA デブラー放送」を開始しました。

Deblur Filtering はデジタル音声信号に特有の「時間軸歪み」を取り除く新たな符号化技術。音のにじみが解消され、より生の演奏に肉迫する音質になります。

なお「MQA デブラー放送」では、MQA のもう一つの特徴である「折り紙」の圧縮技術を使用しないため、従来のチューナーでそのまま新・高音質をお楽しみいただけます。※ Deblur(デブラー<英語>):De+ blur ピンボケをなくすの意

【感動の声！MQA デブラー放送の高音質】

音質の変化は歴然！クラシックファンとしては嬉しい限り

『大変楽しみで、ワクワクして毎日楽しませていただきます。122ch は編成が小さいケースが多いので、大変改善された音質できびきびしているという感じでしょうか。121ch は編成が小さい室内楽、ピアノなどは歴然として改善された音質で、クラシックファンとしては嬉しい限りです。オーケストラのような編成の大きいケースも音質の変化は歴然としていますが、その印象の変化はもう少し聞いてみたいという感じです。』(2021.10.4/A 様)

スッキリそして力強いジャズライブ音源が

『まるで会場で聴いているような高音質。モヤモヤ感無く晴れ渡った空のようなスカッとした素晴らしい音です。滑らかな音は 124ch でも体験してましたが、更に成長したような滑らかさ感じてます。121ch も聴いてますがスッキリ高音質・滑らかな音で更にクラシックが好きになりそうです。今後更にチャンネル拡大との情報。すごく楽しみです。』(2021.10.1/K 様)

リアルな音に近づいてきた

『これまで楽器と楽器の間には朝霧のような霞が僅かにかかっていたため、楽器がやや膨らんで定位しました。しかし、MQA 放送では霞が晴れたような印象。小規模の弦楽合奏ではスッキリした持ち味がでていました。オーケストラでは音の重なりがなくなったような感じ。もっとも、音のソースによって違いを感じない場合も多いですが。良いか悪いかではなく普通の CD とは少し違った音楽性になりました。詳しくは述べられませんが、これまでと違った音の大きさで聴くようになりました。あるときは、小さな音で、あるときは、遥かに大きな音で。隣の部屋との仕切りのドアをあけて、隣でリラックスして聴いていると、ごく自然な音になって時間を過ごすこともあります。曲が変わったりすると、ちょうど、演奏が始まっているにもか関わらず、シンフォニーホールの後ろの 2 重扉の最初の扉をそっと開いたときに漏れてくる音のような錯覚に陥ることもあります。やはりリアルな音に近づいてきたのでしょうかね。』(2021.7.10/T 様)

歴然な違いでびっくりした

『MUSIC BIRD 聞いてすでに 5、6 年経ちますが音質が全く違うことに喜びを得ました。今後、私のよく聞くヒーリングやイージーリスニングなどにも是非拡大適用してください。』(2021.6.12/T 様)

音が滑らかになった

『早速クラシックを試聴しましたが、音の滑らかさが素晴らしいですね。今後も色々なジャンル試聴してみます。楽しみです。』(2021.6.5/K 様)

音質のバールが剥がされたような鮮明さ

『音質的に 1 枚バールが取れた印象で、音の鮮明さが格段にアップし、まるでアンプとスピーカーケーブルをグレードアップしたような錯覚に陥ります。全チャンネルが本方式になれば、契約者は倍増すること間違いなしと思います。』(2021.6.4/匿名)

ライブハウスにいるような空気感

『クラシックは一部の試聴ですが、合奏では音の密度が上がったように感じました。ボーカルでは、声のサ行がより細かくなって聞き取りやすくなったのにきつくなり、滑らかに聞こえ、それはナチュラルになったと言い換えても良いと思います。ジャズは、ピアノトリオを聞き比べてかなりの違いに驚かされました。高音の方ではシンバルをブラシで叩く、擦る音が今まで埋もれがちだったのが、聞こえやすくなり、それも煩くありません！低い方では、ベースの音がより聞こえやすくなり、音程が分かりやすく、リズムも今までよりも弾むように聞こえます！それに、何よりも空気感が凄くて、そのライブハウスまたは録音スタジオの空間の広さまで感じる事が出来る！いや、これは嘘ではなくて、本当に気持ち良くなります！』
(2021.6.3/匿名)

純粋さにエネルギー感が加わった

『クラシックでは通常放送から切り替えた一瞬、線が細くなった印象を受けましたが、これは音質がより純粋になり、ディテールがクッキリと浮かび上がる様になった反作用でしょう。にじみや歪みを含めてエネルギー感と捉えていた耳の錯覚と言うべきで、実際には時間軸の Blur が減ったと感じさせる音場空間が現れました。女声バラードでは声が前に張り出し、発音の明晰さが際立ちます。全体に雑味が減って、しっとり感、艶が増して来ました。ジャズではクラシックで感じた最初の線の細さは感じられず、逆に純粋さにエネルギー感が加わり、通常放送との差が強く出た印象です。今回の MQA 導入を機に Music Bird がまたまた輝きを増してきました。他チャンネルの MQA 化が早く進むことを期待しています。』
(2021.6.1/G 様)

音響空間がより拡張、残響の広がり動きが

『主にクラシック編を試聴しましたが、音像の粒立ちの良さとクリアさに感動しました。管弦楽曲では、今まで中央寄りに空間がかたまり、音像の広がりがあまり感じられませんでした。MQA デブラー放送では、音響空間がより拡張し残響の広がり動きが感じられました。また各楽器の定位がより明確に感じられ、各音の粒立ちがクリアになったようにさえ感じられました。ピアノ独奏曲では、打鍵のアタックとともに残響の広がりが生演奏のように感じられたのが印象的でした。この新技術は、デジタル音楽放送の世界を一新させるのではないのでしょうか。非常に期待が持てます。』(2021.6.1/H 様)

ボーカルが鮮明に。透明感が増した！

『放送開始を楽しみにしていました。107ch ではボーカルが鮮明になり透明感が増したように感じます。音圧が逆転しました。122ch ではピアノの高音、ドラムのハイハットが鮮明に響きます。』(2021.6.1/M 様)

現在の MQA デブラー放送ch

- ・121ch:THE CLASSIC【Premium】
- ・122ch:THE JAZZ【Premium】
- ・124ch:THE AUDIO【Premium】

(今後予定のch、2021年12月中に全 8 チャンネルで開始予定)

- ・103ch:Cool Lounge~THE TERASHIMA JAZZ【Premium】
- ・107ch:Best Voices【Premium】
- ・117ch:KLASSE【Premium】
- ・118ch:SYMPHONIC【Premium】
- ・126ch:SUPER LEGEND【Premium】

MB MQA デブラー放送についてはハイエンドユーザーを中心に好評を得ている。特に温情の広がり感、楽器の存在感が明確になった効果が顕著に表れているようだ。

委員 MQA 技術のデブラー方式を取り入れた唯一の放送ということで、極めて意義が高い。今後、多くのチャンネルでも展開できれば MB の大きなアピールとなるのではないか。

(2)番組試聴

① 124ch THE AUDIO

【番組】『半蔵門オーディオ部～ここだけのハナシ』

【放送日時】 2021年10月3日<日>14:00-15:00 放送

【出演】 たまや(サンバレー大橋慎)・・・真空管アンプビルダー。ファンは多いがアンチも多い。
なにわ商売人(逸品館清原裕介)・・・売れるものはなんでも売る。オーディオでは関西一の売り
上を誇る有名電気店代表。

長老(ミュージックバード松田章)・・・オーディオ歴45年、オーディオ全盛期を電気メーカーで
過ごす。何でも知っている生き字引。

【番組概要】 ミュージックバードオーディオ番組のパーソナリティが本音を語り合う！ここはオーディオ好き
が集まる「オーディオ部」の部室、部員の平均年齢60歳。ぼやき、グチ、辛口トークが炸裂です。

MB オーディオ番組の主な出演者が遊びとして匿名で出演、普段はなかなか言えないホンネのトークを展開して
もらう番組とした。

委員 若い人に対して批判しているオジサンのしんどさを感じてしまった。きわどい発言をしたいのは分かるが、
イニシャルトークはあまり意味がない。発言を暴走させないためには実名をあげて、それを制御する司会者が
いれば良い。若い人にオーディオに興味を持ってほしいならば、若い人をあの中にいれるべきではないか？
様々な世代の角度から意見を出すのはどうか？

MB 音楽カセットテープの専門店ができるなど、ハイエンドオーディオとは別のオーディオの世界を取り上げるこ
とも必要だと感じている。

② 122ch THE JAZZ

【番組】『21世紀のジャズ再入門』(2021年10月2日<土>12:00-13:00 放送)

【出演】 後藤雅洋

【番組概要】 長く聴いても意外と知らないジャズのこと、ベテランのための「ジャズ再入門」。
そして初心者には分かりやすく「ジャズ入門」。ジャズ喫茶「いーぐる」の後藤雅洋さんがテーマ
ごとにジャズの聴きどころをご紹介します。

【出演者プロフィール】

四ツ谷のジャズ喫茶「いーぐる」店主、ジャズ評論家。自ら経営する「いーぐる」でジャズを中心に幅広い音楽
ジャンルの連続講演をそれぞれの専門家の方々にお願ひし開催、現在495回を迎える。

著書は『一生モノのジャズ名盤500』(小学館101新書)『ジャズ耳の鍛え方』(NTT出版)、『ジャズ・レーベル
完全入門・増補版』(河出書房新社)など多数。

MB これまでジャズを聴いて来た方にもジャズの世界を整理してお届けする番組である。

委員 ジャズ入門者に対して知識だけでなく、出演者がジャズにハマっていく過程を話していることで共感しやすい。
丁寧に1曲ずつ名演だから名曲と言われるようになったポイントを説明しているので勉強になる。

委員 音楽を言葉で語るのは難しい。音楽をどう捉えるかを押し付けるのではなく、聞き手の意思で感じさせるこ
とが大切ではないか。

委員 ジャズに詳しくない人でも知っているアーティストを改めて聴いてみようという気にさせる点では狙い通りで
良いと思う。

委員 いい番組で感動した。何も知らない人にとって道しるべになると思う。言葉の意味や時代の流れ、メロディを
追うだけでなく、背景を教えてくれることでジャズの面白さを伝えている。

ラテンや純邦楽、ガムランなどの民族音楽などほかのジャンルでもこういった取り組みができると思う。

委員 ピアノは打楽器であるなど、自分が知らない音楽、取っつきにくかった音楽を知るきっかけになる。

MB 流行っている音楽だけを聴くのではなく再入門、初心者向けにとって語り部によって音楽の多様な楽しみ方がで
きると思う。FM放送の多局化で民放として競争が激しくなり、聴取率を取れる音楽しか扱わなくなるなかで

MB は流行の音楽以外にも多くのファンがいることを認識し開局した経緯がある。

(3)今後の施策について

・復活キャンペーン

PCM放送終了後、これまでに解約された方の中から、2016年～2020年の比較的最近の方、約900名に次ページのハガキを送付し、加入を促進します。

委員 MB の各番組の面白さを如何に広めるか？動画やネットツールの活用は進めてほしい。

委員 MQA デブラーの体験チャンスを増やしてほしい。

MB タイアップできる店舗なども検討していきたい。

以上